

左から本学卒業生の松島さん、飯田さん、山崎さん、深田さん、池端さん



「礼儀・挨拶しつかり」

「主張できる個性・技術を」

学院大で 卒業生5人が経験語る 就職講座

金沢学院大学就職委員会は七月十四日、本学講堂で就職教育講座の一環として卒業生講演会「先輩に聴く」を開き、在校生約三百人が卒業生五人の貴重な体験談とアドバイスを聞き入りました。写真。

講演した卒業生は、池端理身さん（北國新聞社・日本文学科・九年度卒）、山崎崇さん（三谷産業・経営情報学科・十年度卒）、飯田千秋さん（バルデザイングループ・経営情報学科・十四年度卒）、深田謙一さん（JAいなば・英米文学科・十四年度卒）、松島克行さん（全日本食品・経営情報学科・十四年度卒）の五人です。

五人は「なぜ就職するのか」の意識を、自分なりにはっきり自覚することが大事であり、それは「新聞記者になり、たい」との夢であったり、「技術を生かしてシステムエンジニアになろう」との希望であったり、また、「どこでもいいから就職したい」との強い意識でもいいから、各自がしっかりと自覚し、強い志を持つことが、まず職探しの大前提になると強調しました。

面接はもちろん、入社してからでも大切なことは「礼儀・挨拶をしつかりすること」「主張できる個性・技術（クラブ活動）を持つこと」であり、そのうえ



新聞記者になり

でこそ成り立つ人間関係を構築することが、自分自身の人間性の幅や世界を広げ、仕事に役立たせることが出来る、それぞれの経験を交えて話しました。

売店でゴミ処理券販売

七月一日から金沢市の条例に基づき、従来、粗大ゴミとしてステーションに出していた椅子、本棚、液晶テレビ、毛布等約八十点の粗大ゴミが有料戸別収集となりました。

これらのゴミを処理する場合、ゴミ処理券を購入しなければなりません。次に、収集して欲しい日を戸別収集受付センター（0120-537934・フリーダイヤル・ゴミナクソウヨ）に申し込む。最後に予約した収集日にゴミ処理券を貼った粗大ゴミを指定した玄関等に出す。これで粗大ゴミの処理が完了します。ゴミ処理券はゴミの種類や大きさと異なり、五百円と千円の二種類となっております。本学では3号館及び5号館の売店でゴミ処理券を取り扱っています。詳細については各売店でお聞きください。

北國新聞社東京支社ビル4階

本学東京事務所に「求人票」掲示

金沢学院大学東京事務所（北國新聞社東京支社ビル4階）にこのほど、関東周辺で就職活動を行う本学学生に利用してもらう「求人票」の掲示を開始しました。

夏休み、冬休みなどに帰省する関東圏出身者の本学学生の就職活動の一助として、東京都中央区築地六丁目四八、北國新聞社東京支社（03 35417221）内の本学東京事務所（土、日は休日）に、七月初旬までに受け付けした「求人票」を三冊のファイルにセットして配置しました。

この後受け付ける求人票も、順次セットしていきます。就職活動を行う学生は、どんどん利用してください。

発行・入試広報部